

項目	内容
名称	フキ [英]Fuki、Japanese butterbur、sweet coltsfoot [学名]Petasites japonicus (Sieb. et Zucc.) Maxim
概要	フキは日本や中国、朝鮮半島に分布する、双子葉植物合弁花類のキク科の多年生草本である。葉と花が異なる茎に付き、葉柄をフキ、若い花茎をフキノトウという。日本では、本州から沖縄の道ばたや湿った土地、畑で栽培され、葉柄や若い花茎を煮物や天ぷらとして食してきた。西洋フキやフキタンポポとは学名が異なる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精油 (チモールメチルエーテル、メチルチャピコール、フキノンなど)、セスキテルペノイド (フキノリド、ペタシチン、イソペタシチン)、フラボノイド (クエルセチン、ケンフェロール)、アルカロイド (フキノトキシシン)、糖類 (ぶどう糖、果糖)、アミノ酸などを含む (101)。</li> <li>・ピロリジジンアルカロイドを含む (<a href="#">PMID:6841519</a>) (<a href="#">PMID:1021267</a>)。</li> </ul>
分析法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPLCでフキ中のピロリジジンアルカロイドを分析した報告がある (<a href="#">PMID:6841519</a>) (<a href="#">PMID:1021267</a>)。</li> </ul>

## 有効性

ヒ ト で の 評 価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館  
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)  
(34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一  
(35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館  
(76) 日本食品大事典 医歯薬出版株式会社  
(101) 日本薬草全書 新日本法規  
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).  
(102) Toxicology Letters. 1978;1(5-6):291-4.  
[\(PMID:6841519\) J Chromatogr. 1983 Feb 25;257\(1\):146-50.](#)  
[\(PMID:1021267\) Chem Pharm Bull \(Tokyo\). 1976 May;24\(5\):1120-2.](#)  
[\(PMID:27451267\) Allergol Int. 2017 Jan;66\(1\):141-142.](#)  
[\(PMID:4769742\) Gan. 1973 Oct;64\(5\):527-8.](#)